

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ベツカク®

1キロ粒剤 豆つぶ[®]250 ジャンボ



ノビエ



ホタルイ



オモダカ



※1キロ粒剤のみ



※WCS: 稲発酵粗飼料



※ジャンボを除く

ベツカク この除草剤、別格。

- 有効成分エフィーダ® (一般名フェンキノトリオン) を配合
- ノビエに対し安定した効果と長期残効
- オモダカやクログワイなどの難防除雑草にも高い効果



※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業(株)の登録商標



エフィーダ® 配合
問題雑草に広く効く!!



- 有効成分：ピリミルスルファン……0.50% (1キロ粒剤)、2.0% (豆つぶ250)、2.0% (ジャンボ)
フェノキサスルホン……2.0% (1キロ粒剤)、6.0% (豆つぶ250)、6.0% (ジャンボ)
フェンキノトリオン……3.0% (1キロ粒剤)、12.0% (豆つぶ250)、12.0% (ジャンボ)
- 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

特長

- 有効成分エフィーダ® (一般名フェンキノトリオン)を配合した3成分の混合剤です。
 - 発生前～3葉期までのノビエに卓効を示し、また、後から発生するノビエも長期間抑えます。
 - ホタルイやコナギ、オモダカ、クログワイ等の雑草にも高い効果を示します。
 - 既存の4-HPPD阻害剤に感受性の高い飼料稲等栽培時にも使用することが可能です*。
- *既存の4-HPPD阻害剤に感受性が高いとされる、やまだわら、とよめき、タカナリ、モミロマン、ミスホチカラ、ハバタキ、おどろきもち、ふくおこし、えみだわら、もみゆたかに対し、エフィーダは高い安全性を示すことを確認しています。WCSIについては別途、稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアルを確認の上、ご使用願います。
- 1キロ粒剤は田植同時処理が可能です。

適用雑草及び使用方法

2022年10月現在の登録内容

*各有効成分を含む農薬の総使用回数：ピリミルスルファン2回以内、フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内

1キロ粒剤 (農林水産省登録 第24155号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び 多年生雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回*	田植同時散布機で 施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫75日前まで			湛水散布

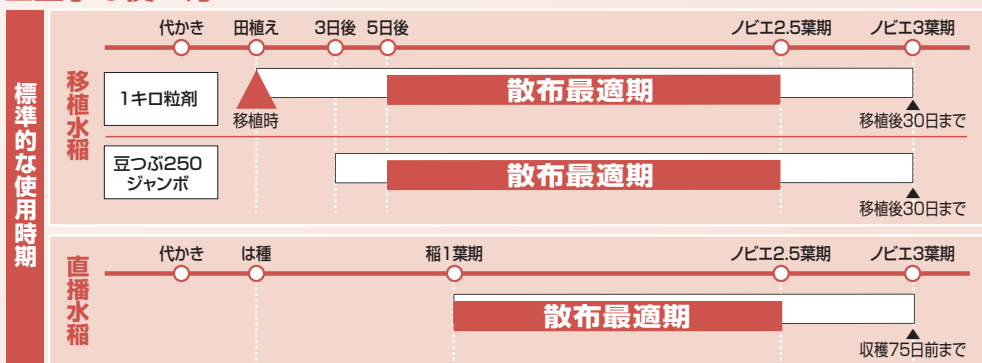
豆つぶ250 (農林水産省登録 第24156号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生及び多年生雑草	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	250g	1回*	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫75日前まで			湛水散布又は 無人航空機による散布

ジャンボ (農林水産省登録 第24157号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生及び多年生雑草	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (250g)	1回*	水田に 小包装(パック) のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫75日前まで			

上手な使い方



■使用上の注意 (抜粋)

【共通】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までは、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワは3葉期まで、ホタルイは4葉期まで、オモダカは矢尻葉1葉期まで、クログワイは草丈10cmまで、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、キシウスズメノエは再生茎2葉期まで(1キロ粒剤は再生始期まで)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期まで(1キロ粒剤)が本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 雑草をもたらず栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前が有効なので散布適期を失ないように散布してください。また、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
 - 発芽直後の稲に対して葉害を生じるおそれがあるので、適切な覆土をおこない散布してください。
 - 稲の根が露出した条件では葉害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。

【1キロ粒剤】

- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。

【豆つぶ250】

- 湛水散布または湛水周縁散布にあたっては、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 水口に対して向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさけてください。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
 - 水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

【ジャンボ】

- 散布の際は、やや深めの湛水状態(5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 小包装(パック)のまま10アールあたり10個の割合で水田に均一に投げ入れてください。
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2022年10月現在の知見に基づき作成しています。 2407(24-6)

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>